

2016年版ちひろカレンダー普及ニュース

発行：原水爆禁止神奈川県協議会 横浜市中区野毛町 2-61 大沢ビル 4A

Tel 045 (231) 6284 Fax045 (261) 6577 Mail- kana-gensuikyoo@gol.com 発行日：2015.11.30 No.2

現在、4,250本を越えました あと、1700本普及のためご協力を!

多くの方の奮闘でちひろカレンダー普及は4250本を越えました。ありがとうございます。
しかし、目標の6000本達成の見通しは見えていません。あと1ヵ月のがんばりです。これからは、新しい分野と人に広げることが鍵です。

被爆70年・戦後70年の年がまもなく終わります。今年は、本当に激動と転換の年となりそうです。それは、歴史を前進させる転換にするか、それとも歴史を逆戻りさせる「転換」を許すか、現在も激しくせめぎ合いが続いています。また核兵器を使う時代にさせるわけにはいきません。「その道は許さない!」という声と運動は、国際的にも前進し続けています。

この運動を前進させ、勝利するためにも、ちひろカレンダー普及の新たな前進を、みんなの力でやり遂げようではありませんか。あと、3本、1本と周りに広げるために、力をお貸しください。

今、一人でも多くの人に愛と平和の「ちひろカレンダー」を

ちひろカレンダーの紹介・普及を通して、平和・核兵器・戦争・子どもの未来について語り合う機会が増えます。こんなときだからこそ、いわさきちひろさんの「優しく透明な絵に込められた子どもへの限りない愛」「戦争のない平和な世界を願うところ」が注目され“ちひろカレンダー”の新たなファンが増えています。今こそ、ちひろカレンダーを多くの人に広げ、新しい“ちひろファン”をたくさん作りませんか。平和と子どものしあわせのために。

今年も、東日本大震災被災者にちひろカレンダーを贈ろう!

笠木事務局長

11/22日~23日
届けてきました!

相馬市の飯舘村・浪江町の仮設住宅に千葉や日本原水協のみなさんとちひろカレンダー500本を届けてきました。自分たちのことを忘れていない人がいることに誰もが心から喜んでカレンダーを受け取ってくれました。自宅に戻れない苦しみは辛い深刻なものでした。

★募金袋を使つて、ワンコイン募金の取り組みもお願いします。

★募金袋・チラシもあります。

★一口1000円を目安に

多くの方に募金をお願いします。

東日本大震災・福島原発事故から4年9ヶ月が経ちました。事故の収束と復興は遅れ、未だに10万人以上の人々が、自宅を離れ避難生活を余儀なくされています。仮設住宅の被災者は、先の見えない生活に不安と絶望の毎日を送っています。最大の責任は東電と政府です。一日も早い復旧・復興のため、運動を強めなければなりません。同時に、今できることの一つとして、仮設住宅の被災者にちひろカレンダーを贈る活動を、目標は300本で行います。そのための募金にご協力をお願いします。

ちひろカレンダー普及は 県原水協を財政的に 支える大きな役割を 果たしています!

原水禁運動は昔も今も多くの市民の募金に支えられて運動を進めています。

ちひろカレンダーは、大事な財政活動の一環でもあります。皆さんのカレンダー普及が原水禁運動を支えることに直接つながっています。お歳暮に、年賀に、田舎のお土産に、ちひろカレンダーはいかがですかと周りの人に声をかけ、あと1本、3本、5本と広げてください。最後まで普及へのご協力よろしくお願ひします。

★カレンダーの代金は、12月14日までに納入するようお願いいたします。